

“やっちゃんえ”鳴高！～鳴高生のみなさんへ校長メッセージ～

「日本人ファースト」って？

2025/9/1付け朝日新聞の『天声人語』に、ある党の代表が「子供が誇りをもてるような国にしたい。それに反対する人は日本人だったらいいはずだ。嫌がるのは日本を潰したい人たちですよ」と演説したのを受け、「どんな国を誇らしいと思うのか。誇りに思わねばいけないのか。勝手にふるいにかけられるのは、まっぴらだ。」という意見記事が掲載されました。

「誇らしい」と言えば、10月、坂口志文氏がノーベル生理学・医学賞、北川進氏がノーベル化学賞を受賞したニュースがありました。日本人が世界的に評価され歓喜に沸いたあの時こそ「誇らしい」と思う瞬間だったのではないかでしょうか？特に私が「誇らしい」と思えたは、私の次男が中学生のときに全身性エリテマーティス（免疫系が自分の体を攻撃する難病）と診断され、高校生2年生で発症して長期入院し、現在も定期的な通院と投薬管理を一生し続けなければならないなかで、坂口氏の研究成果が免疫疾患の治療の道を開いたと聞き、それを日本人が成し遂げたことに感謝するとともに、「誇らしい」と思う気持ちが湧きました。

【鳴高トピックス】 ※詳しくは鳴高HPで

back number

☑ 体育大会 (R7.10.3 金)

今年が最後となる伝統の“白い体操服”を身にまとった3年生は、鳴高最後の体育大会を盛り上げてくれました。特に大縄飛びで見せた各クラスの団結力は天晴れ！沢山の保護者の皆さまの熱い声援をいただき、まさしく「輝きはいつも、一生懸命の中にある」を体現した体育大会になりました。

Future

□ 普通科2年生修学旅行（沖縄） (R7.11.11 火～11.14 金)

この夏の参院選ではこの言葉を掲げたとある党が躍進しました。この言葉が一部の人々の負の感情に訴える「犬笛」となり、SNSの情報を鵜呑みにしたコメント欄などが「排他主義」や「ヘイトスピーチ」の温床になっているのではないか？と気になります。

毎朝、朝日新聞をタブレットで読み、興味のある記事は切り抜き、保存しています。最近気になっているのが「日本人ファースト」「外国人受け入れ/外国人政策」「排他主義」「アフリカ・ホームタウン・JICA」といったワードです。日常的に外国人を排斥する言葉がSNS上で飛び交い、根拠のない情報が真実かのように伝播され、外国人の増加に漫然とした不安や違和感を抱く人々の感情を煽っています。

NHGsの一丁目一番地で学校全体でのグローバルリーダーの育成をゴールに掲げている鳴高高校では、人権軽視や排他的な社会の風潮に課題意識をもち、日本に住む外国人や外国にルーツを持つ人の思いに思いを馳せ、社会を共につくる仲間として互いに文化や習慣への理解を深め、『違いを尊重しながら共存していくには？』という問い合わせもある鳴高生であってほしい！先日、閉幕した大阪万博のメッセージだって「多様でありながら、ひとつ」でしたよね。

これまで鳴高高校ではオーストラリアや英国と交流していました。今後は交流の場を中国にも広げていきます。その一環として中国広州市の広州外国语学校と何らかの交流を進めていく予定です。それに先立ち、11月4日～13日の間、1年生の富井都美さんが「中国・広東省との高校生交流事業」で兵庫県を代表して中国広東省を訪問し、現地の学生と交流したり、ホームステイを体験します。帰国後、インタビューしてその内容を12月号で紹介できたらと思っています。どんな話しが聞けるのか、今から楽しみです♪

3年生学年通信から～体育大会 Topixs～

体育大会の新しい競技「トウクトウクパンプレー」では、各学年オリジナルのバトンが使われましたが、3年生はミャクミャクをテーマに3年松井祐徳さんが作製しました。教員チームにも作ってくれたので、パワーをもらって頑張りました♪



11月号

鳴高高等学校

笑顔

夢

プロジェクト

＜質問コーナー＞

※学校外の活動で活躍する鳴高生に校長がインタビューして紹介していく、その第二弾！

【Q】2年 山出 涼雅さん、どうしてそんなにトランポリンが得意なんですか！？

【A】小学校1年生からトランポリンを始め、中学校1年生で兵庫県尼崎市に転居してからは、大阪府八尾市にあるクラブで練習を続けています。水曜日と日曜日以外の週5日は、平日3時間、休日4時間の練習があり、平日は学校が終わってから大阪府八尾市まで通っているので、帰宅は22時になるのだそうです。中学校3年生、高校1年生のときにも大きな大会で結果を残してきた山出さんですが、高校2年生になり、第62回全日本トランポリン競技選手権大会予選会に初挑戦ながらも全国大会出場枠に入り、10月の全国大会に初出場することができました。トランポリン歴11年の今年、12月の2025川崎トランポリンジャパンオープンでいったん休止し

高校3年生からは受験にシフトして、将来は健康やスポーツ系の大学を目指すのだそうです。ここでは書き切れ

れなかった活動詳細や山出さんのインスタアカウントは、校長ブログで紹介していますのでチェックしてみてください。

【予告】12月号は1年 長谷川さんを紹介します♪



第53回西日本トランポリン競技選手権大会 2025年9月12～14日